

第10回 建設施工における現場作業支援のDXに関するWG

1. 日時

令和7年2月19日（水） 16:00～18:00

2. 場所

中央合同庁舎3号館11階インフラDXルーム

3. 出席者（敬称略） 参加 ○印：対面、W印：Web

<学識者委員>（五十音順）

W 小林泰三（立命館大、副WG長）、W 建山和由（立命館大）、○永谷圭司（筑波大）、
W 西尾真由子（筑波大）、○松尾亜紀子（慶応大）、○油田信一（芝浦工大、WG長）

4. 議事

（1）第9回WG（7月1日）の主な意見

（2）令和6年度報告事項

① パワーアシストスーツ（PAS） ② XR技術 ③ ドローン技術

<主な意見>

（1）意見なし

（2）令和6年度報告事項

① パワーアシストスーツ（PAS）

○NETISへの登録を推進するとよい。

○疲労感やストレスの評価に、心拍など客観的な数値データを取り入れることで、
自覚していない疲労を測定することを検討するとよい。

○継続使用を希望する人と希望しない人での作業内容の差を確認するとよい。

② XR技術

○ユーザーからのフィードバックを活用して改良を重ねることで、さらに使いやす
くなることが期待される。

○現状では技術の導入メリットが見えにくいため、今後も技術開発状況等を調査し、現場での検証段階について検討するのがよい。

③ ドローン技術

○建設分野への更なる活用に向け、広範囲の分野での活用状況等を継続的に調査することが必要。

●今後の予定について

○次回 WG は R 7 年 5 月下旬頃を予定。

－以 上－